



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年7月29日

上場会社名 兼松株式会社

（コード番号：8020 東証・大証各第1部）

（URL <http://www.kanematsu.co.jp>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 三輪 徳泰

問合せ先責任者 役職名 主計部長 氏名 作山 信好 TEL (03) 5440-8979

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

当第1四半期より固定資産の減損に係る会計基準を適用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結（新規）4社（除外）0社 持分法（新規）0社（除外）3社

当第1四半期及び前第1四半期の数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切り捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	229,818	11.3	3,497	9.8	2,261	11.7	6,908	-
17年3月期第1四半期	206,554	8.0	3,875	81.4	2,562	147.3	1,226	-
（参考）17年3月期	886,876		15,762		11,720		2,469	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	16 90	-
17年3月期第1四半期	3 61	3 50
（参考）17年3月期	6 52	-

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

当第1四半期の世界経済は、堅調な米国景気と依然として高い成長を続ける中国経済に支えられ、拡大を持続しました。日本経済も設備投資が増加し、個人消費も持ち直したことから、景気は緩やかな回復基調にあります。

こうした中、当第1四半期の売上高は、米国での石油及び天然ガス採掘用パイプ取引や設備投資関連の工作機械取引が依然として高い水準で推移し、またIT関連では引き続きモバイル事業が好調で、売上高全体としては、前年同期比232億円増加の2,298億円となりました。

売上高の増加にともない、売上総利益も前年同期比2億円増加の167億円となりましたが、営業利益は、前期に導入した基幹システムの償却負担やモバイル事業の店舗網拡大等の先行投資的な費用がかさんだこと等により販売費及び一般管理費が増加し、前年同期比3億円減少の34億円となりました。その結果、経常利益は、好調だった前年同期に比べ3億円の減少となりましたが、持分法投資損益の改善等によって上期計画45億円の半分にあたる22億円を達成いたしました。特別損益では、固定資産等の減損会計が当期から強制適用となりましたので、87億円の減損損失を計上いたしました。その結果、当四半期純損益は69億円の損失となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	528,088	33,405	6.3	81 10
17年3月期第1四半期	507,109	25,249	5.0	73 49
(参考)17年3月期	520,118	38,029	7.3	93 74

当第1四半期末の総資産は、固定資産の減損による減少はあったものの、売上高の増加にともなう営業債権等の増加によって、前期末比79億円増加の5,280億円となりました。自己資本は、減損損失計上にともなう利益剰余金の減少で334億円となり、前期末に比べ46億円減少しました。

有利子負債につきましては、引き続き圧縮方針としており、現預金を差し引いたネット有利子負債が2,588億円となり、中期経営計画「NewKG200」の最終年度目標である2,500億円が確実に視野に入ってまいりました。固定資産の減損会計適用によるアセット・クオリティの向上と併せ、「盤石な財務基盤の確立」を図っております。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

経済環境はそのまま堅調に推移するものと予想され、当期に強制適用となった減損会計も、期初見通しの範囲内となったことから、平成17年3月期決算発表時(平成17年5月9日)に公表いたしました当期連結業績予想はそのまま据え置くことといたします。

(ご参考)平成17年5月9日開示内容

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	430,000	4,500	5,000
通期	915,000	13,500	2,000

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる仮定を前提としております。従いまして、実際の業績につきましては、今後の様々な状況変化により、記載の見通しとは大きく異なる可能性がありますことにご留意下さい。

連結損益計算書

兼松株式会社

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)		前第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)		増 減		(参 考) 前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売上高	229,818	100	206,554	100	23,264	11.3	886,876	100
売上原価	213,037	92.70	190,017	91.99	23,020	12.1	818,734	92.32
売上総利益	16,780	7.30	16,536	8.01	244	1.5	68,142	7.68
販売費及び一般管理費	13,282	5.78	12,660	6.13	622	4.9	52,380	5.90
営業利益	3,497	1.52	3,875	1.88	378	9.8	15,762	1.78
営業外収益								
1 受取利息	213		220		7		1,031	
2 受取配当金	223		416		193		851	
3 持分法による投資利益	36		-		36		853	
4 その他	328		287		41		1,601	
営業外収益計	801	0.35	924	0.44	123	13.3	4,337	0.49
営業外費用								
1 支払利息	1,822		1,625		197		6,700	
2 持分法による投資損失	-		170		170		-	
3 その他	215		440		225		1,678	
営業外費用計	2,037	0.89	2,237	1.08	200	8.9	8,379	0.95
経常利益	2,261	0.98	2,562	1.24	301	11.7	11,720	1.32
特別利益								
1 有形固定資産等売却益	4		18		14		42	
2 投資有価証券売却益	31		82		51		1,680	
3 貸倒引当金戻入益	313		133		180		771	
4 債務保証損失引当金戻入益	-		2		2		3	
特別利益計	349	0.15	236	0.11	113	47.9	2,497	0.28
特別損失								
1 有形固定資産等処分損	74		101		27		1,253	
2 減損損失	8,743		-		8,743		-	
3 投資有価証券売却損	0		2		2		1,219	
4 投資有価証券評価損	14		117		103		233	
5 関係会社等事業整理損	41		43		2		1,038	
6 関係会社等貸倒引当金繰入額	37		148		111		3,000	
7 債務保証損失引当金繰入額	-		12		12		977	
8 退職給付会計基準変更時差異償却額	-		411		411		1,658	
特別損失計	8,911	3.87	836	0.40	8,075	965.9	9,381	1.05
税金等調整前四半期(当期) 純損益	6,301	2.74	1,962	0.95	8,263	-	4,836	0.55
法人税、住民税及び事業税	599	0.26	522	0.25	77	14.8	1,861	0.21
法人税等調整額	167	0.07	79	0.04	246	-	72	0.01
少数株主利益	175	0.08	134	0.07	41	30.6	432	0.05
四半期(当期)純損益	6,908	3.01	1,226	0.59	8,134	-	2,469	0.28

連結貸借対照表

兼松株式会社

(単位：百万円)

資産の部				負債、少数株主持分及び資本の部			
科 目	当第1 四半期末 (平成17年 6月末)	前連結会計 年度末 (平成17年 3月末)	増 減	科 目	当第1 四半期末 (平成17年 6月末)	前連結会計 年度末 (平成17年 3月末)	増 減
流動資産				流動負債			
1 現金及び預金	48,452	49,256	804	1 支払手形及び買掛金	132,563	124,284	8,279
2 受取手形及び売掛金	152,659	148,551	4,108	2 短期借入金	110,620	99,484	11,136
3 有価証券	0	0	-	3 未払法人税等	638	807	169
4 たな卸資産	80,702	71,172	9,530	4 繰延税金負債	0	7	7
5 繰延税金資産	6,886	7,074	188	5 その他	35,246	27,846	7,400
6 短期貸付金	8,274	8,014	260	流動負債合計	279,070	252,430	26,640
7 その他	37,450	36,080	1,370	固定負債			
貸倒引当金	2,122	2,202	80	1 長期借入金	196,688	211,332	14,644
流動資産合計	332,304	317,946	14,358	2 繰延税金負債	771	573	198
固定資産				3 退職給付引当金	5,884	5,961	77
1 有形固定資産	62,467	69,395	6,928	4 債務保証損失引当金	2,021	1,965	56
2 無形固定資産	3,024	2,784	240	5 その他	7,514	7,453	61
3 投資その他の資産				固定負債合計	212,880	227,285	14,405
(1) 投資有価証券	72,707	71,670	1,037	負債合計	491,950	479,715	12,235
(2) 長期貸付金	21,476	22,609	1,133	少数株主持分	2,731	2,373	358
(3) 固定化営業債権	36,071	36,051	20	資本金	27,501	27,501	-
(4) 繰延税金資産	19,632	19,281	351	資本剰余金	27,008	26,037	971
(5) その他	8,812	8,979	167	利益剰余金	1,604	5,392	6,996
貸倒引当金	28,421	28,618	197	土地再評価差額金	58	58	-
投資その他の資産計	130,278	129,973	305	その他有価証券評価差額金	1,975	1,694	281
固定資産合計	195,770	202,153	6,383	為替換算調整勘定	20,375	21,504	1,129
繰延資産				自己株式	1,157	1,149	8
1 新株予約権発行費	13	18	5	資本合計	33,405	38,029	4,624
繰延資産合計	13	18	5	負債、少数株主持分 及び資本合計	528,088	520,118	7,970
資産合計	528,088	520,118	7,970				

セグメント情報

兼松株式会社

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期（自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	I T	食料	鉄鋼・プラント	ライセンス・I社	繊維	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	59,410	38,526	57,016	61,368	12,132	1,363	229,818	-	229,818
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	0	1	13	-	27	48	(48)	-
計	59,416	38,527	57,017	61,381	12,132	1,390	229,866	(48)	229,818
営業費用	59,102	38,094	55,241	60,849	11,979	1,100	226,368	(48)	226,320
営業利益	313	432	1,776	532	152	289	3,497	0	3,497

前第1四半期（自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日）

（単位：百万円）

	I T	食料	鉄鋼・プラント	ライセンス・I社	繊維	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	58,557	35,623	49,649	49,223	12,150	1,348	206,554	-	206,554
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	8	10	8	-	27	57	(57)	-
計	58,560	35,632	49,660	49,232	12,150	1,375	206,611	(57)	206,554
営業費用	57,454	34,723	48,399	49,143	11,921	1,095	202,737	(58)	202,678
営業利益	1,106	909	1,260	88	229	279	3,874	1	3,875

前連結会計年度（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	I T	食料	鉄鋼・プラント	ライセンス・I社	繊維	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	249,125	134,357	219,830	220,427	57,926	5,209	886,876	-	886,876
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	31	167	136	-	124	504	(504)	-
計	249,170	134,388	219,997	220,564	57,926	5,333	887,381	(504)	886,876
営業費用	245,557	132,677	213,554	218,686	56,739	4,398	871,613	(498)	871,114
営業利益	3,612	1,711	6,443	1,877	1,187	935	15,768	(6)	15,762

平成18年3月期 第1四半期 連結業績ハイライト

売上高は前年同期比増収。

- ・売上高は2,298億円で前年同期比232億円(11.3%)の増収。売上総利益も売上高増加に伴い2億円増の167億円。
- ・販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は前年同期比3億円減少し34億円。
- ・経常利益は、22億円を確保。(上期見通し45億円)
- ・減損会計適用により減損損失を計上したため、当期純損益は69億円のマイナス。

固定資産の減損によりアセット・クオリティは着実に向上。

- ・自己資本は、減損損失計上にもなう利益剰余金の減少により46億円減少し、334億円。
- ・ネット有利子負債は引き続き圧縮し2,588億円。
- ・NewKG200の最終年度末(平成19年3月末)目標の2,500億円は視野内。

単位:億円(億円未満切捨て)

収益の状況	H17/3期	H18/3期	前年同期比		H18/3期		(ご参考) H18/3期		主な増減要因
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率	中間見通し	達成率	見通し	達成率	
売上高	2,065	2,298	232	11.3%	4,300	53.4%	9,150	25.1%	売上高 NewKG200での営業基盤拡大の取組成果により増収。米国での石油および天然ガス探掘用パイプ取引や設備関連の工作機械取引が引き続き好調。エネルギー関連取引も寄与。 販売費 営業基盤拡充のための先行投資や基幹システム導入の償却負担等により6億円増加。 営業外収支 外貨金利の上昇により支払利息が増加。 特別損益 固定資産の減損会計適用による減損損失87億円を計上。
売上総利益	165	167	2	1.5%	-	-	730	23.0%	
売上総利益率	8.0%	7.3%	0.7%	-	-	-	8.0%	-	
販売費及び一般管理費	126	132	6	-	-	-	-	-	
営業利益	38	34	3	9.8%	-	-	175	20.0%	
営業外収支	13	12	0	-	-	-	-	-	
経常利益	25	22	3	11.7%	45	50.2%	135	16.7%	
特別損益	6	85	79	-	-	-	-	-	
税金等調整前当期純損益	19	63	82	-	-	-	-	-	
当期純損益	12	69	81	-	50	-	20	-	

事業別セグメント情報	売上高				営業利益				主な増減要因
	H17/3期	H18/3期	前年同期比		H17/3期	H18/3期	前年同期比		
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率	
IT	585	594	8	1.4%	11	3	7	71.7%	IT モバイル事業が好調で増収。一方、半導体部品・装置関連は回復基調ながら絶対好調であった前期には及ばず減益。 食料 飼料原料や食品大豆、および鶏肉・羊肉が好調で増収。一方、牛肉の価格高値安定にともなう需要減退等が影響し減益。 鉄鋼・プラント 米国での石油および天然ガス探掘用パイプ取引や、東南アジアでのプラント事業、子会社での工作機械取引が好調で増収増益。 ライフサイエンス・エネルギー 原油価格の高騰ならびに製品への価格転嫁が進み、増収増益。
食料	356	385	28	8.1%	9	4	4	52.4%	
鉄鋼	304	324	20	6.7%	11	12	1	11.2%	
プラント	193	246	53	27.7%	1	5	3	323.3%	
鉄鋼・プラント	496	570	73	14.8%	12	17	5	40.9%	
エネルギー	414	541	126	30.6%	1	3	4	-	
ライフサイエンス	78	73	5	6.6%	1	1	0	11.6%	
ライフサイエンス・エネルギー	492	613	121	24.7%	0	5	4	499.0%	
繊維	121	121	0	0.2%	2	1	0	33.5%	
その他・消去	14	14	0	-	4	3	0	-	
合計	2,065	2,298	232	11.3%	38	34	3	9.8%	

資産・負債および資本の状況	H17/3末	H17/6末	H17/3末比増減	主な増減要因
総資産	5,201	5,280	79	総資産 固定資産が減損会計適用により減少した一方、売上高増加に伴う営業債権等の増加により、79億円増加。 ネット有利子負債 借入金返済により27億円減少。 自己資本 減損損失計上にもなう利益剰余金減少により46億円減少。
ネット有利子負債	2,615	2,588	27	
自己資本	380	334	46	
自己資本比率	7.3%	6.3%	1.0%	
ネットDER(倍)	6.9	7.7	0.8	